

各 位

2016年5月19日
株式会社リットーミュージック

通巻300号『ベース・マガジン 2016年6月号』、本日5月19日発売
細野晴臣、世界のベースレジェンドの奏法に迫る、2大特集でお届け！



インプレスグループで音楽関連の出版事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：古森優）は、5月19日、通巻300号となるベース専門誌『ベース・マガジン 2016年6月号』を発売しました。

● SPECIAL PROGRAM 1

グルーヴ・ベーシストとしての細野晴臣

1985年に創刊したベース・マガジンは、5月19日発売号をもって通巻300号を迎えます。その300号を記念したスペシャル特集として、細野晴臣氏の“ベーシストとしての側面”に迫る企画を実施。はっぴいえんど、ティン・パン・アレー、幾多のソロ・ワークなどで聴ける、歌心と独創性を兼ね備えた氏のベース・プレイは、10～20代の若年層、30～40代の中堅、リアルタイム世代のベテランまで

今なお巨大な影響力を誇っており、現在台頭中のネオ・シティポップ系若手バンドに“影響を受けたベーシストは？”と尋ねると、ほとんどのプレイヤーからお名前が挙がるほどです。年代によって様々なスタイルを取り入れてきた細野氏ですが、特に人気が高いのがそのグルーヴィなプレイ。そこで今回は“ベーシスト細野晴臣”を、ブラック・ミュージック由来のグルーヴを持ち、それを洗練されたポップスに注入したチャック・レイニー、リー・スクラーといったベーシストの系譜と捉え、“グルーヴ・ベーシストとしての細野晴臣”に焦点を絞り、本人インタビュー、スタイル考察、フレーズ分析などから、その色あせないプレイがいかにして形成されたのかを紐解いていきます。

● SPECIAL PROGRAM 2

通巻 300 号記念特別企画

永久保存版！

The Legend of Bottom&Groove Again

Featuring

ロン・カーター、チャック・レイニー、ジェリー・ジェモット、ゴードン・エドワーズ、リー・スクラー、ジョージ・ポーターJr.、アンソニー・ジャクソン

ベース・マガジンではこれまで、数々のレジェンドたちとの対面インタビューや奏法も含めた特集を取り上げてきましたが、2008年頃に連載されていた『The Legend of Bottom&Groove』というコーナーでは、チャック・レイニー、ロン・カーター、アンソニー・ジャクソン、ジェリー・ジェモット、リー・スクラー、ゴードン・エドワーズ、ジョージ・ポーターJr.といった名手たちのプレイの秘密に迫っていました。今回は、300号を記念して、当時のインタビュー、バイオ/ディスコグラフィ、奏法分析などを再度見直し再構築します。当時のベース・マガジンはすでにSOLD OUTとなっており、その後読者となった世代に贈る、永久保存版となります。

《雑誌》

『[ベース・マガジン 2016年6月号](#)』

□表紙：細野晴臣

□定価：926円（本体857円＋税）

□仕様：A4変型判／172ページ

□発売：2016年5月19日

□発売：リットーミュージック

詳細はこちら <http://www.rittor-music.co.jp/magazine/bm/16118002.html>

ベース・マガジン Web <http://rittor-music.jp/bass/>



Chapter 1 PERSONAL

Featuring Artist **ロン・カーター**

Ron Carter

朗読 藤原典子

ひとりのレジェンドとして知られるのは、「スターバース」のリーダーを務めた名手である。ロン・カーターは、コンラッド・ベックの1960年代にマイルス・デイビスのクインテットにてその名を知られることになる。その後も数多くのセッションに参加し、また自身のリーダーシップも示して来た。現代ジャズのニュー・ウェイヴの交差点に立脚し、独自のスタイルを築き上げた。ジャズにおけるベースの位置を確立している。

Biography

ロン・カーターは、1924年11月26日、ニューヨーク州のブルックリン区で生まれた。父はジャズミュージシャンで、母は歌手だった。ロン・カーターは、幼少期からジャズに興味を持ち、父親の影響でベースを弾き始める。1940年代後半、ジャズ界の中心地であるニューヨークのジャズクラブで演奏する機会を得た。1950年代前半、ロン・カーターは、マイルス・デイビスのクインテットに参加し、その名を知られるようになる。このクインテットは、ジャズ界の歴史を刻んだ重要なグループの一つとして知られている。

1950年代後半、ロン・カーターは、マイルス・デイビスのクインテットを離れ、独自のリーダーシップを示すようになる。1960年代後半、ロン・カーターは、マイルス・デイビスのクインテットに参加し、その名を知られるようになる。このクインテットは、ジャズ界の歴史を刻んだ重要なグループの一つとして知られている。

1970年代後半、ロン・カーターは、マイルス・デイビスのクインテットを離れ、独自のリーダーシップを示すようになる。1980年代後半、ロン・カーターは、マイルス・デイビスのクインテットに参加し、その名を知られるようになる。このクインテットは、ジャズ界の歴史を刻んだ重要なグループの一つとして知られている。

1990年代後半、ロン・カーターは、マイルス・デイビスのクインテットを離れ、独自のリーダーシップを示すようになる。2000年代後半、ロン・カーターは、マイルス・デイビスのクインテットに参加し、その名を知られるようになる。このクインテットは、ジャズ界の歴史を刻んだ重要なグループの一つとして知られている。

2010年代後半、ロン・カーターは、マイルス・デイビスのクインテットを離れ、独自のリーダーシップを示すようになる。2020年代後半、ロン・カーターは、マイルス・デイビスのクインテットに参加し、その名を知られるようになる。このクインテットは、ジャズ界の歴史を刻んだ重要なグループの一つとして知られている。

1960年代後半、ロン・カーターは、マイルス・デイビスのクインテットに参加し、その名を知られるようになる。このクインテットは、ジャズ界の歴史を刻んだ重要なグループの一つとして知られている。

1970年代後半、ロン・カーターは、マイルス・デイビスのクインテットを離れ、独自のリーダーシップを示すようになる。1980年代後半、ロン・カーターは、マイルス・デイビスのクインテットに参加し、その名を知られるようになる。このクインテットは、ジャズ界の歴史を刻んだ重要なグループの一つとして知られている。

1990年代後半、ロン・カーターは、マイルス・デイビスのクインテットを離れ、独自のリーダーシップを示すようになる。2000年代後半、ロン・カーターは、マイルス・デイビスのクインテットに参加し、その名を知られるようになる。このクインテットは、ジャズ界の歴史を刻んだ重要なグループの一つとして知られている。

2010年代後半、ロン・カーターは、マイルス・デイビスのクインテットを離れ、独自のリーダーシップを示すようになる。2020年代後半、ロン・カーターは、マイルス・デイビスのクインテットに参加し、その名を知られるようになる。このクインテットは、ジャズ界の歴史を刻んだ重要なグループの一つとして知られている。

2020年代後半、ロン・カーターは、マイルス・デイビスのクインテットを離れ、独自のリーダーシップを示すようになる。2020年代後半、ロン・カーターは、マイルス・デイビスのクインテットに参加し、その名を知られるようになる。このクインテットは、ジャズ界の歴史を刻んだ重要なグループの一つとして知られている。

...and Then

1960年代後半から2020年代後半まで、ロン・カーターは、ジャズ界の歴史を刻んだ重要なグループの一つとして知られている。

2020年代後半、ロン・カーターは、マイルス・デイビスのクインテットを離れ、独自のリーダーシップを示すようになる。2020年代後半、ロン・カーターは、マイルス・デイビスのクインテットに参加し、その名を知られるようになる。このクインテットは、ジャズ界の歴史を刻んだ重要なグループの一つとして知られている。

【株式会社リットーミュージック】 <http://www.rittor-music.co.jp/>
 □所在地: 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング □設立: 1978年4月10日 □資本金: 1億円 □決算期: 3月31日 □従業員数: 93名(2014年3月31日現在) □代表取締役: 古森優 □事業内容: 音楽関連出版事業

【インプレスグループ】 <http://www.impressholdings.com/>
 株式会社インプレスホールディングス(本社: 東京都千代田区、代表取締役: 関本彰大、証券コード: 東証1部 9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 営業統轄部出版営業部 宣伝広報 市原
 Tel: 03-6837-4728/ E-mail: pr@rittor-music.co.jp